

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

.理念に基づく運営

- 1. 理念の共有
- 2. 地域との支えあい
- 3. 理念を実践するための制度の理解と活用
- 4. 理念を実践するための体制
- 5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

- 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
- 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

- 1. 一人ひとりの把握
- 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
- 3. 多機能性を活かした柔軟な支援
- 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

- 1. その人らしい暮らしの支援
- 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

【記入方法】

複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに管理者が介護職員と協議の上記入してください。

次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。

- 項目番号23 初期に築く本人との信頼関係
- 項目番号24 初期に築く家族との信頼関係
- 項目番号25 初期対応の見極めと支援
- 項目番号26 馴染みながらのサービス利用
- 項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援

次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。

- 項目番号53 身だしなみやおしゃれの支援
- 項目番号59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援
- 項目番号60 お金の所持や使うことの支援
- 項目番号61 日常的な外出支援
- 項目番号62 普段行けない場所への外出支援
- 項目番号63 電話や手紙の支援
- 項目番号64 家族や馴染みの人の訪問

【用語について】

管理者 = 指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。

職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名	(有) ヘルパーステーション小川
(ユニット名)	ひまわりの家
記入者(管理者) 氏名	柏浦 ひろ子
評価完了日	平成 19 年 3 月 24 日

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>独自の理念があり、見えやすい所に掲げている。</p>	<p>理念を介護者一人ひとりが、どう捉えて日常の中で実践しているかどうか、日々振り返る必要がある。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>上記の理念以外に、職員が作り上げた具体的な理念もあり、管理者会議や職場会議または、カンファランス時に具体的にご利用者に当てはめ、理念を貫いているかどうか、論議している。</p>	<p>“理念は皆で作上げるもの”この理念で良いかどうか、自分たちが目指しているものの確認が必要である。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進委員会、家族会の皆様には、折りに触れて伝えていきます。また、見学者、訪問者の方にも、説明することがあります。</p>	<p>地域の方々と接する機会を多く作り、分かりやすく説明をして、理解していただきます。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>運営者は可能な限り、地区の集会に参加するように心がけている。また、参加した長寿会や新年会などで、「グループホームとは?」「介護保険とは?」等の質問に対し、分かりやすく説明するように心がけている。</p>	<p>併設の認知症対応型通所介護施設は、ほとんどのご利用者が地域の方々です。ヘルパーも全員が地域の人です。ご利用者の家族の方も、気軽に訪問し、レクリエーション等に共に参加されます。地域密着の良さを日々感じており、それがグループホームの利用につながるケースもあります。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の祭りや納涼会に参加したり、子供神輿を迎え入れたりして、楽しんで頂いている。また、地域の婦人活動にも参加して、ボランティアを組織している。</p>	<p>グループホームを、地域の方々に理解していただく為にも、有償ボランティアを組織して、ご利用者の話し相手や、見守りを行ってもらう方向で、動き出している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>介護保険の説明会を、地域の長寿会からの依頼で行いました。また、人材育成の貢献として、実習生の受け入れを積極的に行っている。</p>	<p>地域の区長さんが、運営推進委員長を受けて下さいましたので、今後、さらに地域との連携を大切に考えて行きたいです。働いているヘルパー達も地域の人が多いので、ご利用者の受け入れや、馴染みの関係が作りやすいので、地域の方々に役立つことは、積極的に行動に移していきます。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>今回はじめて、外部評価を受けます。全職員に、評価の意義や目的を伝え、全員で取り組みました。</p>	<p>自己評価、外部評価の必要性と、果たす役割を皆が理解する必要があります。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ようやく、運営推進会議も立ち上げられ、今年一月に第一回が開催されました。グループホームの現状を知っていただき、今後めざす方向のお知らせも出来ました。皆様に助言、評価していただき、今後活かしていきたいです。</p>	<p>二ヶ月に一回の会議をきちんと開催できるよう、委員長との連携をはかる。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域密着の担当の長寿課の方とは、常に連絡を取り、体制や人事の面でも、ご指導いただいております。</p>	<p>制度上、分からない事などを問い合わせ出来る、唯一の地域の窓口ですので、これからもご指導していただきます。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>見守りのない利用者が入居されのを機会に、包括支援センターのご指導を受けて、成年後見人制度の導入を学びました。色々な方の情報を得て、他県から親戚の方が訪れて下さり、解決の糸口が見つかりつつあります。</p>	<p>身寄りのない方々への対応、財産を守ること、特に認知症の方の場合は大切です。制度の理解を深めていきます。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>平成18年の虐待防止関連法については、県の説明会に参加し、認知症の方の介護の基本を学ぶ中で、常に虐待について学び合っています。ご利用者からの暴力も含めて、個別カンファランスを持っています。</p>	<p>利用者からの暴力の対処法</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項の説明をはじめ、当事業所の目指すものを分かりやすく説明します。ご家族だけでなく、可能な限りご本人にも来所していただき、充分納得していただいてから、入所をしていただきます。</p>	<p>ご家族への説明は充分できますが、ご本人の納得を得ることは困難ですし、省略されてしまう事が多々あります。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情委員会を設立しています。第三委員には、医療連携している医師が、引き受けて下さっています。グループホームの入口には、ご意見を受け付けるポストを設置しました。今のところ、不満、苦情はありません。</p>	<p>本当に苦情はないのか、知りたいと思います。何か手立てがありますでしょうか。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月担当スタッフより、現在の様子を手紙にてお知らせしています。金銭管理は、ご家族の管理で行われています。</p>	<p>定期的に来所されるご家族が多いので、利用者の様子は、その時にお知らせしています。介護者は誰でも、家族に様子が説明出来るように、把握している必要があります。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族には訪問時、家族会などで常に問いかけ、何でも言える場を作っています。玄関に意見を入れるポストも設置しています。</p>	<p>市町村の相談窓口や運営推進会議など、事業所以外の外部の人に、意見、苦情を表せる機会や場があることを、繰り返し説明していく必要がある。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職場会議、勉強会などを行い、意見を聞くようにしています。</p>	<p>意見や提案を聞く機会を、多く持つようにしています。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>認知症対応型通所が隣接しているので、職員の行き来を行い、利用者の自由な暮らしを、できる限り支えられるようにしている。</p>	<p>継続して行きます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>開設して一年目ですので、異動はありません。利用者や、ご家族への信頼関係を築く為にも、馴染みの職員が対応することが重要と考えています。</p>	<p>職場が楽しくなる工夫や、働きやすさなど、職員が働き続けられるよう、常に配慮しています。</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所外で、開催される研修会には、可能な限り参加しています。研修報告書を提出してもらい、伝達講習も行っています。</p>	<p>今後も、できる限り研修会に参加し、全職員が共有できるように、研修内容を報告する機会を作っていきます。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営者、管理者は同業者の集まりをもっている。日常的にも、お互いに連絡し合い、交流している。相互訪問も行い、ご利用者の紹介を受けることもある。</p>	<p>他のスタッフは、研修会だけの交流となっている。意見交換の場を作ったり、見学する機会を設けることが、これからの課題です。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>何でも意見が出せる会議を、月一回は開きます。管理者は、その意見を反映させ、職場改善していきます。管理者会議も月一回ありますので、他事業所との連携を図り、問題解決に努めます。年二回、職員交流会をもちます。</p>	<p>職員の交流の場を設定し、気軽に話せる場を作っていき、それを継続していきます。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>カンファランスや討議の場をもつ努力をしています。行政や協議会主催の研修会にも、できる限り参加させています。</p>	<p>これからも、行政や協議会主催の研修会に参加します。また、定期的学習会をもちます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の生活歴を知ること、そして現在の生活状況に結びつけ、対応しています。本人の思い、不安、喜びなどを知ること努め、暮らしの中で、分かち合い、共に支え合える関係づくりに、留意しています。</p>	<p>本人の思いを知るには、本人に寄り添い語りかけることが大切です。コミュニケーション術を向上させ、利用者と上手に会話することが出来る介護者を目指します。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	定期的面会を促したり、自宅で過ごす時間がもてるように配慮している。また、利用者の方と一緒に過ごしてもらえるように、グループホームでの行事に参加を呼びかけ、共に楽しむ努力をしています。		一緒に過ごせるような機会を設ける。(定期的な行事の設定)
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族、本人の思いや状況を見極めながら、外出、外泊で家族と一緒に過ごすことを勧めたり、行事に参加を呼びかけ、より良い関係の継続に努めている。		本人の思いを汲み取って、ご家族に伝えていく努力をする。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔から利用している理・美容室に行き続けている利用者、墓参りを続けている利用者があり、一人ひとりの生活習慣を尊重している。元の職場の方、隣組の方、サークルの方、孫など多くの方が訪れています。		利用者が出かけて行く場面を、積極的に作っていったり、こちらに来ていただけるように働きかける。本人を取りまく人や、支えてきた人達との関係が、途切れないようにする。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	自分で動けない方が多いので、ホールで過ごす時間は、職員がコーディネーター役として、会話を成立させます。座る位置も固定していますが、時には、利用者の状態に変化させ、利用者同士の関係を常に気を配ります。		利用者が、気持ちよく日常生活が送られる為に、介護者の支援が大切です。利用者の精神状態の把握に努めます。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	当事業所からの退居は、死亡退居のみです。残されたご家族との関係を大切にしています。ご家族の健康確認や、時折、お線香を上げにうかがっています。		行事に招待したり、遊びに来てもらうなど、継続的なつき合いが出来るように心掛ける。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりのなかで、声をかけて把握に努めている。意思疎通が困難な方には、ご家族から情報を得るようにしている。</p>	<p>日頃の会話が大切です。馴染みの関係作りのなかで、一人ひとりの思いが、理解出来るようになると思います。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人自身の語りや、家族、知人などの訪問時など、少しずつ把握に努めている。</p>	<p>知りたい事は、まず本人から聞き出し、分からない事があつたら、家族、知人、親戚の方からと、色々な人を通して、本人の理解を深める。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>一人ひとりの暮らし方や、生活のリズムは把握しています。</p>	<p>本人の出来る力、分かる力を暮らしの中から、発見していく努力をします。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>まだ、チームで作り上げるまでは出来ていませんが、作成した計画を皆に提示し、意見をもらって修正しています。ご家族には、読み合わせを行い、確認をしていただいている。</p>	<p>個別カンファランスを定期的に持ち、介護計画の見直し、点検をしていきたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状態が変化した際は、終了する前であっても、検討、見直しを行っている。</p>	<p>三ヶ月に一度は、計画の見直しを行う。</p>

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別のファイルに、暮らしの様子、身体的状況を記録している。個別記録を基に、介護計画の見直しを行っている。</p>		<p>身体的状況、暮らしの様子など、職務に関する前の確認を必ず行い、ケアにあたる。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)</p>	/	/	/
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>地域のボランティアを、受け入れ始めたところである。消防署には、防火訓練指導を受けている。“草野心平記念館”や“草野心平生家”の見学は、利用者に好まれている。</p>		<p>ボランティア組織作りを充実させ、地域の方の、グループホームへの理解を深めていただきます。</p>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>利用者の状況に応じて、訪問理・美容や、マッサージの利用をしていただいている。</p>		<p>本人の意向や、必要に応じて、これからもサービス利用をしていきます。</p>
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>身寄りがない方が入居され、成年後見人制度について、包括センターに相談をしました。今後の方向が、見えてきました。</p>		<p>運営推進会議に、地域包括センターの職員の方が参加することにより、関係が強化されました。本人の権利を守ることは、基本であることを常に心掛け、援助していきます。</p>

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>事業所の協力医の他、利用者の掛かりつけ医で、受診できるように、ご家族と協力し、通院介助を行い、複数の医療機関と、関係を密にしている。</p>		<p>担当看護師を中心に、利用者の身体状況把握を適切に行い、主治医との連携、家族への報告など、対応に心掛ける。</p>
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症の診断はあるが、薬は特に処方されていない方が、問題行動が出現した時などは、連携医師と相談しながら、専門医を受診することがある。</p>		<p>情報の収集を行い、適切な専門医を見つけることが重要です。</p>
45				
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>胃瘻造設のため、入院した利用者がいました。担当看護師や、医師と話し合い、できるだけ早い時期に退院できるように、家族も含めて話し合いをもち、対応しました。</p>		<p>医療との連携は、ますます必要となります。主治医との連携を密にし、適切に対応する。</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期医療連携システムが出来ている。入居時からご家族とは話し合い、終末の迎え方を考えておいて頂きます。実際の終末を迎えた場合は、できる限り、ご家族の意に添った方向で、主治医と連携する。</p>		<p>現状を維持させる努力をしていきます。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>終末や重症期を迎えた場合は、ご家族との連携を密にし、主治医とも話し合っただき、方針を統一します。また、職員にも、方針をきちんと伝えて不安のないように、お互いに力を合わせます。</p>		<p>ご家族とは常に話し合い、終末期の確認をして、職員にもご家族の思いを伝えて、全員のものとし、利用者が安心して過ごせるように心掛ける。</p>

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>この一年間の退居者は、死亡によるものでした。他のグループホームや、病院からの入居はありましたが、常に、本人やご家族に会い、安心して入居できる準備をしてから、迎え入れました。グループホームの担当者や、病院の看護師や、医師との情報交換もしました。</p>		<p>別の居所に移り住んだ方は、まだ、いらっやいませんが、職員の間で、討議しておかなければなりません。</p>
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>				
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>				
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>呼名は、性または名前で、行うようにしている。本人を傷つけないよう声かけ、対応に配慮している。</p>		<p>全職員が、本人を傷つけないような言葉づかい、対応の徹底する。ミーティング時、会議など、折りにふれ、職員の意識向上を図る。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>職員側から決めた事を押しつけず、選択肢を提案し、自分で決める場面を作っている。</p>		<p>一人ひとりの利用者が、自分で決める場面を多く作っていく。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの体調に配慮しながら、出来るだけ個別性のある支援を行っている。</p>		<p>事業所のスケジュールに合わせる事なく、その時の本人の気持ちを尊重し、支援していく。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援(53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>今までの行きつけの店へ、ご家族の協力を得て行くなど、ご家族と連携して行っている。その他の方は、一ヶ月～二ヶ月に一度、美容師に在所していただいています。</p>		<p>自己決定しにくい利用者には、一緒に考え、本人の気持ちに添った支援を心掛ける。</p>

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>出来ることは、やって頂くことを心掛けている。野菜の皮むき、切るなどです。また、食器拭き、テーブル拭き、箸を配るなどは、役割が決まっていて、積極的に行っていらっやいます。</p>		<p>入居者一人ひとりの出来る力を活かし、出来るだけ、一緒に食事準備を行っていきたい。スタッフの意識を変える必要もある。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>行事や誕生会には、ワインや自分達で作った果物酒を楽しみます。料理なども好みの物を聞いて、買い物に出かけます。</p>		<p>特別な日だけでなく、日常的にも楽しめるよう、支援したい。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄チェック表を使用し、尿意のない利用者にも、トイレ誘導する事で排泄が出来るよう、支援している。夜間オムツの方も、日中はオムパンツを使用している。</p>		<p>本人を傷つけないような声かけ、誘導をする。介助が一人で無理な方でも、二人介助にて、排尿をしていただいている。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週の計画表に添って、入浴はしますが、本人の希望を確かめてからの入浴です。</p>		<p>時間は、職員の都合で決めてしまっているのが、現状です。本人が望む時間帯で、入浴が出来るような人員配置を検討したい。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの体調や、表情、希望を考慮して、ゆっくり休息が取れるよう、支援する。</p>		<p>現状継続です。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>本人の趣味を継続出来るよう、支援します。絵を描く人、詩を作る人など、それぞれの発表の場を設けています。役割や無理のない範囲で、行っていただいています。</p>		<p>本人の出来る事をもっと探りだして行きたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している(認知症対応型共同生活介護)	近隣にお店がないので、日常的には、買い物は出来ませんが、車での巡回販売車が定期的に来るので、希望者は、買い物を楽しめます。		買い物ドライブを試みて、利用者の満足度を高めた。定期的に行っていききたい。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	体制上、本人の希望通りにはいかないが、戸外に出掛ける工夫は、定期的に行われている。集団の外出、個別の外出は、その利用者に応じた対応をしている。		利用者と共に、年間行事を立案して実行したい。ご家族の参加も要請する。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している(認知症対応型共同生活介護)	本人が行きたいと思う遠くの外出については、予め計画を立てて、徐々に始めている。		希望を叶える外出は、大切だと思います。ご家族や友人の協力を得て、実現させています。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	絵手紙交流をしている方への、お礼の手紙を、一人ひとりの有する力に応じて、返事を出すための支援をしています。また、孫への手紙を書く支援もしています。		自分の気持ちや、伝えたい感情を上手にキャッチして、支援していききたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している(認知症対応型共同生活介護)	気軽に、来やすい雰囲気作りを、心掛けている。		現状の姿勢を、継続していきます。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	介護度の高い方の介護が多いので、ベッドからの転落予防の為に柵は使用しています。ご家族からは、同意を受けています。また、車椅子にて過ごす時間は、常に本人の確認を得て、過ごしていただいています。		身体拘束は最小限として、基本的には拘束しない方針です。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員同士の声かけ、連携で、鍵を掛けない努力をしています。居室には、鍵がありません。</p>		<p>職員の連携で、日中は鍵を掛けない方針です。</p>
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>夜間は、定時見守りを行っています。日中は、職員の声かけを大切に、連携を取って見守りを行います。</p>		<p>連携した見守りを、継続していきます。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>刃物の管理、薬の管理は注意しています。</p>		<p>危険な物を認識できる能力を維持させる為、今の利用者にとって、何が危険かを常に討議して行きたいです。</p>
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>利用者個別に、予測できる危険を話し合い、防ぐ手立てを考えて、全員で統一した対応を行っている。</p>		<p>現在の状況を、継続していきます。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>急変時マニュアルを作成しています。常時、看護師がいるので、急変時は対応できます。</p>		<p>救急手当や、蘇生術の研修を実施し、全ての職員が対応出来るようにして行きたいです。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>マニュアルを作成し、年一回は避難訓練を行っている。協力体制については、運営推進会議で協力を呼びかけている。</p>		<p>緊急時の避難袋の準備</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>利用者一人ひとりに起こり得るリスクについて、把握しており、家族に対策を説明している。高齢者に起こり得るリスクについて、入所契約時に話し合っている。</p>	<p>安全を優先するご家族に対して、自由な暮らしの大切さと、事業所の方針を説明し、理解を得られるように努めている。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>普段の状況を、職員は把握しており、食欲低下、顔色、様子の変化がみられたら、バイタルチェックし、変化時の記録をつけている。また、急変時は、往診につなげている。</p>	<p>毎日の体調チェックの他に、表情、顔色など、日常との違いを、素早くチェック出来るような介護者を目指します。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬ファイルの作成をし、職員が内容を把握出来るようにしている。服薬の確認を、きちんと行っている。</p>	<p>利用者が服用している薬について、全職員が把握する。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>水分摂取の確認をする。排便表への記入と確認をする。看護師と医師との連携で、薬の処方、または浣腸を行う。日常的には、個別的な運動をし、繊維質の多い食材や乳製品を採り入れている。</p>	<p>排便チェック表への記入を継続し、医師、看護師の指示・指導で、排便コントロールに気を配る。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後、歯磨きの声かけを行い、見守りや介助にて行っている。</p>	<p>現状をきちんと継続します。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分の摂取状況を、毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有している。</p>	<p>食べやすい食形態を、常に心掛けています。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	主治医と連携し、冬期に入る前に、インフルエンザの予防接種を利用者および、介護者全員行っている。細菌感染予防は、マニュアルを作成し、学習して予防・対策に努めている。		手洗いの励行を厳守しています。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板や布巾は、毎晩、漂白しています。食材の残りは、鮮度や状態を確認し、冷凍したり、処分したりしている。		現状を守っていきます。賞味期限は、常に気をつけています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	明るい雰囲気のある玄関になるように、花を生けたり、玄関先にプランターを置いている。廊下には絵画を飾り、ギャラリーの様になり、心を和ませる工夫をしています。		現状を維持し、常に整備し、危険物は除去しておきます。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの前面は、林でウッドデッキがあります。天気の良い日はデッキに出て、会話や、おやつを楽しみます。トイレやテーブル、玄関周囲は常に花に囲まれ、季節感があふれている。		利用者と一緒に考え、居心地の良い場となるように努力していきたいです。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールの一角がテレビ室になっていて、間切りしてあります。また、ベランダに椅子とテーブルを置き、一人で過ごしたり、利用者同士でくつろげるスペースをつくっている。		ホール内の整理整頓を常に心掛け、利用者に不快感を与えないようにしています。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた物や、親しんでいた飾り物などを置き、利用者の居心地の良さに配慮し、部屋の臭いにも気をつけ、消臭器も設置しています。</p>		<p>居室の環境づくりは、担当を決めて少しずつ進めているところです。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>床暖房、空調器、室温計が設置されていて、常に換気に気をつけます。(早朝、全室換気)室温計で、常に室温をチェックし、適温を保っています。</p>		<p>現状を維持させていきます。職員の認識を、更に高めます。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下は手すりが設置され、床は全く段差がなく、安全に歩行が出来ます。廊下は、ぐるりと回れるよう配置され、どちらからでも、自分の部屋に入れます。</p>		<p>廊下、居室内の危険物を、常に認識できる職員の姿勢を、維持させていきます。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>トイレや洗面所など共有の場所は、大きな字で表示し、迷わないように心掛けています。</p>		<p>本人にとって、「何が分かりにくいのか。」どうしたら本人の力で、やって頂けるかを追求し、対応していきます。</p>
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ホール前のウッドデッキは、林を見通し、四季折々の楽しみがあります。山菜も目の前にあり、春は楽しみです。玄関周囲も、花々に囲まれるように心掛けています。夏は、ひまわりの花を沢山咲かせます。</p>		<p>現状を維持させる努力をしています。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の利用者2/3くらい利用者1/3くらいほとんど掴んでいない	その他()
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある数日に1回程度あるたまにあるほとんどない	その他()
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が利用者2/3くらいが利用者1/3くらいがほとんどいない	その他()
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が利用者2/3くらいが利用者1/3くらいがほとんどいない	その他()
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が利用者2/3くらいが利用者1/3くらいがほとんどいない	その他()
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が利用者2/3くらいが利用者1/3くらいがほとんどいない	その他()
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が利用者2/3くらいが利用者1/3くらいがほとんどいない	その他()
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と家族2/3くらいと家族1/3くらいとほとんどできていない	その他()
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように数日に1回程度たまにあるほとんどない	その他()

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている ① 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	その他()
98	職員は、生き活きと働けている	① ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が ① 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない	その他()

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

自然豊かな林に囲まれたグループホームです。自然に触れながら、心安らかにすごせる事が特徴です。四季折々の楽しみかたが出来ます。日々の実践の中では、その方が出来る限りの能力を発揮できるように、援助しています。(絵を描きためたもので、個展を開催する。詩を書きためたものを製本し、保存する。習字を書き、自室に飾る。日記や手紙を書く援助をする。)また、このグループホームで今、一番心を配っている事は、ここで終末を迎えることです。慣れ親しんだこのグループホームで、安心して、心静かに死を迎えられるように、職員一同、ご家族の方針に添った方向になるように努力しています。